

海洋理工学会平成 28 年度秋季大会プログラム

10月27日(木) 会場:京都大学 楽友会館

9:30 ~ 受付
9:55 ~10:00 開会

学会賞受賞記念講演

- 10:00-10:30 H1. [第 14 回堀田記念奨励賞]
海洋生物の行動を詳細に把握するためのバイオリギング測器の開発
野田琢嗣 (統計数理研究所・日本学術振興会特別研究員)
- 10:30-11:00 H2. [平成 27 年度論文賞]
大村湾の貧酸素水塊の消長に関する考察
田口 浩一 (株式会社サイエンスアンドテクノロジー)
- 11:00-11:30 H3. [平成 27 年度顕功賞]
海洋理工学会を巡る出会いと別れ
荒井修亮 (京都大学フィールド科学教育研究センター)
- 11:30-12:00 H4. [平成 27 年度業績賞]
環境影響評価技術における当社の歩みと今後の展望
細田昌広 (いであ株式会社)
- 12:00-13:00 昼休み

シンポジウム 「無人観測ビークルの現状と将来」

- 13:00-13:10 趣旨説明 千賀康弘 (東海大学)
- 13:10-13:50 S1. 無人観測船の開発例 千賀康弘 (東海大学)
- 13:50-14:30 S2. 無人航行制御技術の最前線
松田秋彦 (国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産工学研究所)
- 14:30-15:10 S3. Autonomous Surface Vehicle (ASV)
百留忠洋 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
- 15:10-15:25 休憩
- 15:25-16:05 S4. 海のはやぶさ 馬場尚一郎 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
- 16:05-16:45 S5. 水中グライダーによる海洋観測の展望
浅川賢一 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
- 16:45-17:25 S6. Sea Glider をはじめとした AUV の紹介・研究事例
中野健一 (日本海洋株式会社)
- 17:25-17:45 総合討論
- 18:00-19:30 イブニングセッション (京都大学 楽友会館レストラン)

10月28日(金)

一般講演・ポスターセッション

9:30-10:50 一般講演 1「観測」 **座長 中田 喜三郎 (名城大学)**

- A1. オホーツク海知床沖における氷海モニタリングシステムの試験観測
○青木 茂・小野数也・深町 康・大島慶一郎(北大低温研 ILTS)、市川雅明・中川敏彦・小林研吾 (IHI)、小竹正人 (IHI-IIC)、小澤知史 (マリンワークジャパン)
- A2. Sea Ice Observation by HF Ocean Radar
○張 偉(北大低温研)
- A3. GCOM-W 衛星搭載 AMSR2 マイクロ波放射計で観測された海上風速の精度評価
○江淵直人(北大低温研)
- A4. 自己浮上式海底地震計 (OBS) を用いた駿河湾での連続地震観測について
○一ノ瀬里美・花村憲享・馬場久紀 (東海大海洋)、中田健嗣・平田賢治・山崎 明・小林昭夫・勝間田明男・対馬弘晃・前田憲二 (気象庁)

10:50-11:50 一般講演 2「観測手法の検討」 **座長 月岡 哲 (海洋研究開発機構)**

- A5. Argo フロートの簡易検定手法の確立
○橋向高幸・廣田聡子・川上紀子・小澤知史 (マリンワークジャパン)、平野瑞恵・細田滋毅 (海洋研究開発機構)
- A6. 水中音響通信ドップラーシフト対策の基礎検討
○吉澤真吾・谷本 洋 (北見工業大学)、馬淵祐作・齋藤 隆 (三菱電機特機システム)、津久井智也・澤田信一 (IHI)
- A7. 非線型引き込みをベースとした SWARM 用通信装置の開発
○田原淳一郎・伊藤大智 (東京海洋大学)

11:50-13:00 昼休み

13:00-13:40 ポスターセッション **楽友会館**

- P1. 自己浮上式海底地震計の回収支援に向けた小型衛星通信端末の搭載実験について
○花村憲享・一ノ瀬里美・馬場久紀 (東海大海洋)、中田健嗣・小林昭夫 (気象研)、浅原里美 (Sky Fix Com Japan)、茂木伸治 (勝島製作所)
- P2. 水中昇降システムの運用
○中村哲也、北澤裕司、川原寿能(日油技研)
- P3. 新規サプレッサー技術を用いた海水分析手法の基礎検討
○鶴島修夫 (産総研)、増長洋登 (日理工業)
- P4. 遠隔操作海底サンプリングシステムの開発 「海のはやぶさ計画」
○馬場尚一郎, 古山裕喜, 佐藤智紀, 田村芳彦, 門馬大和 (JAMSTEC(1201))
- P5. 化学物質運命予測モデルを用いた環境水中農薬の動態予測
○小松原由美・江里口知己 (サイエンスアンドテクノロジー)・小林憲弘 (国立医薬品食品衛生研究所)

13:40-14:40 一般講演 3「モニタリングシステム・リスク評価」 **座長 千賀 康弘 (東海大学)**

- A8. 自己浮上型海底地震計の浮上速度の改善
○野 徹雄・佐藤 壮・三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC) 森 誠一・佃 薫・寺田育正・芹澤皇子 (日海事)
- A9. 海底資源開発モニタリング技術への光ファイバー適用
○後藤浩一・島津 充・高橋厚志 (環境総合テクノス)・多田政俊・芥川真一 (神戸大学大学院工学研究科)

A10. 東京湾における銅の生態リスク評価

○田井梨絵・亭島博彦(日本海洋生物研究所)・江里口知己(サイエンスアンドテクノロジー)

14:40-15:40 一般講演 4「栄養塩」

座長 畑 恭子 (いであ)

A11. ワカメ胞子体の色落ち現象に対する微量鉄の影響

○上野聡浩・三木理・奥村真子(金沢大学)、小杉知佳・加藤敏朗(新日鐵住金)

A12. 生態系モデルからみた貧栄養化・ノリ色落ち・生態系回復の関係性(1)

○相馬明郎(大阪市立大学院)

A13. 生態系モデルからみた貧栄養化・ノリ色落ち・生態系回復の関係性(2)

○相馬明郎(大阪市立大学院)

15:40-15:50 優秀ポスター表彰